

# ギアモータ仕様・電磁ブレーキ仕様

## モータ仕様

シリーズ	V										SD	
容量	50W		0.1kW			0.2kW		0.4kW		0.75kW		
電圧 (V)	12	24	12	24	48	24	48	24	48	48		
定格電流 (A)	5.9	2.7	12.4	5.8	2.7	9.8	5.1	20.1	9.9	19.5		
定格クラス	S1 (連続)										S3 25%	
モーターリード線 (mm <sup>2</sup> )	0.9 (AWG18)		2 (AWG14)								2 (AWG14)	
最大延長距離 (m)	5										5	
起動停止頻度	30回/分 (ニッセイ製のドライバを使用した場合)										—	
使用周囲温度 (°C)	0~40°C										0~40°C	
使用周囲湿度 (%RH)	IP30		85%RH以下 (結露しないこと)								IP40/ IP44	85%RH以下 (結露しないこと)
											IP65	100%RH以下 (結露しないこと)
保存周囲温度 (°C)	-10~60°C (凍結しないこと)										-10~60°C (凍結しないこと)	
保存周囲湿度 (%RH)	85%RH以下 (結露しないこと)										IP40/ IP44	85%RH以下 (結露しないこと)
											IP65	100%RH以下 (結露しないこと)
耐振動	0.5G以下										0.5G以下	
高度	1,000m以下										1,000m以下	
雰囲気	腐食性・爆発性のガスがなく、じんあいを含まない換気の良い場所										IP40/ IP44	腐食性ガス・爆発性ガス・蒸気などのないこと。 じんあいを含まない換気の良い場所であること。
											IP65	腐食性ガス・爆発性ガス・蒸気などのないこと。 水中や高水圧のかかる場所では使用できません。
設置場所	屋内										IP40/ IP44	屋内
											IP65	屋内外

※上記表に記載している定格電流値はギアヘッドなし(モータ単体)の参考値です。  
ギアモータとしてはP.858~P.862の負荷率-電流特性をご参照ください。

## 電磁ブレーキ仕様

シリーズ	V										SD
容量	50W		0.1kW			0.2kW		0.4kW		0.75kW	
ブレーキ方式	無励磁作動 (スプリングクローズ)										
保持トルク (N・m) (モータ軸)	0.20		0.57			0.95		1.76		3.0	
励磁電圧 (V) (±10%)	12	24	12	24	48	24	48	24	48	48	
消費電流 (A) (20°C)	0.44	0.25	0.65	0.36	0.17	0.58	0.28	0.58	0.31	0.21	
消費電力 (W) (20°C)	5.3	6.0	7.8	8.6	8.3	13.9	13.2	13.9	15.1	10.0	
リード線 (mm <sup>2</sup> )	0.5 (AWG20)										0.3 (AWG22)

※電磁ブレーキは保持用です。制動用途には使用できません。  
 ※電磁ブレーキON・OFF時に発生するサージからドライバを保護するため、サージキラーを必ず挿入してください。  
 ※付属のバリスタ(82V品、1J以上)またはダイオード(100V、1A以上)をご使用ください。  
 ※ブレーキ構造上、モータ運転時にディスクの擦り音が発生することがありますが、ブレーキ性能には特に問題ありません。

VG/APGタイプ  
平行軸

VHタイプ  
直交軸

VF3S/VF3Fタイプ  
同心中空軸・同心中実軸  
AFCタイプ/直交中空軸

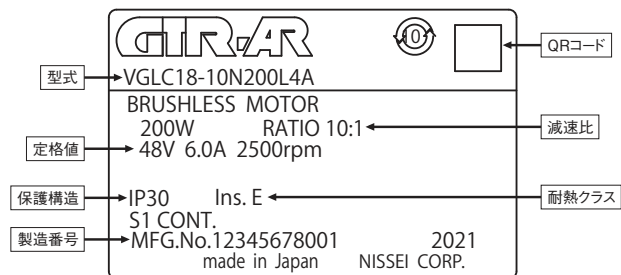
制御部仕様

技術資料

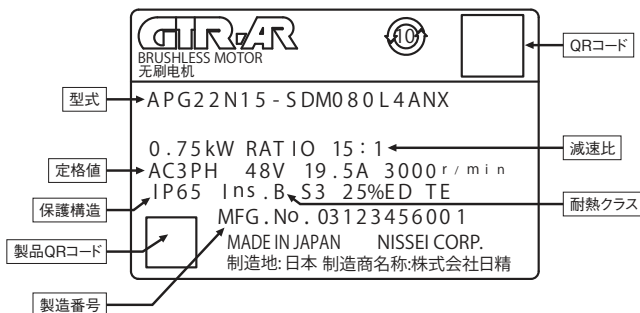
# ギアモータ仕様・電磁ブレーキ仕様

## 銘板

### Vシリーズ



### SDシリーズ



## 電磁ブレーキ Vシリーズ

### 構造

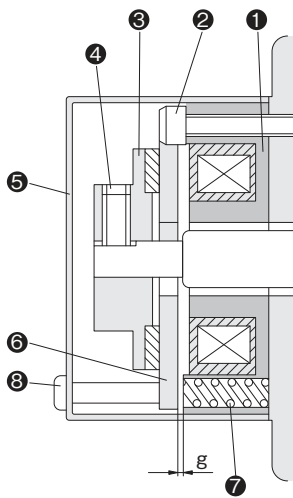
<50W>

- ① フィールド
- ② 六角穴付ボルト
- ③ マサツディスククミ
- ④ 六角穴付止メネジ
- ⑤ ブレーキカバー
- ⑥ アーマチュア
- ⑦ スプリング
- ⑧ ブレーキカバー固定ネジ

g: ギャップ

※本ブレーキは保持ブレーキです。通常の使用においてはギャップの調整は必要ありませんが、非常停止など制動の為に繰り返し使用された場合は摩擦板がすり減り、ギャップが広がる可能性があります。ギャップが広がった場合はブレーキの開放ができなくなるため、ギャップ調整を実施してください。

適正ギャップ  $g=0.2\pm 0.1$



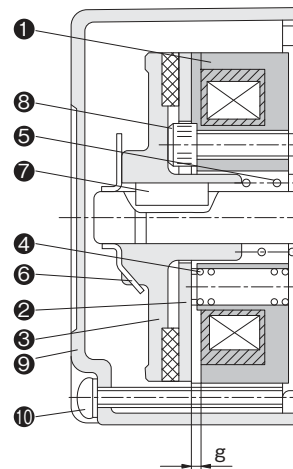
<0.1kW,0.2kW,0.4kW>

- ① フィールド
- ② アーマチュア
- ③ アウターディスク
- ④ スプリング1
- ⑤ スプリング2
- ⑥ キクザガネナット
- ⑦ キー
- ⑧ 六角穴付ボルト
- ⑨ ブレーキカバー
- ⑩ ブレーキカバー固定ネジ

g: ギャップ

※本ブレーキは保持ブレーキです。通常の使用においてはギャップの調整は必要ありませんが、非常停止など制動の為に繰り返し使用された場合は摩擦板がすり減り、ギャップが広がる可能性があります。ギャップが広がった場合はブレーキの開放ができなくなるため、ギャップ調整を実施してください。

適正ギャップ  $g=0.4\pm 0.1$



VG/APGタイプ  
平行軸

VHタイプ  
直交軸

VF3S/VF3Fタイプ  
同心中空軸・同心実軸  
AFCタイプ/直交中空軸

制御部仕様

技術資料